

今週のモーニングセミナー報告

令和6年1月17日（水）の講話 <第974回>

テーマ：信誠万事～高松中央倫理法人会 設立までのあゆみ～

香川県高松中央倫理法人会 専任幹事（有）三野不動産 代表取締役 三野正登

（松浦 清貴 会長） 今月の誕生日プレゼント。富田奈和代さん、昌山晃一呂さん。ハッピーバースデー！
葉14条「希望は心の太陽である」 先日ゴルフ場から帰る時、ゴルフバッグを他の人のものと間違っていました。途中で電話がかかって、大変申し訳ないことをしたと悲観は雲であるのままに、車中で謝罪の練習をしていました。「申し訳ございません～」と。迷惑をかけましたが、こういうこともありますと言われて、すぐ立ちなおりました。悲観しないようにという学びでした。 本日の講話者、高松中央倫理法人会の専任幹事の三野正登様、県下各単会のMS出席者数、一位でした。どんな話が聞けるのか楽しみです。 東かがわ市のスローガン：『明るく、楽しく、自己革新、今日も元気、スマイル東かがわ市～』

（三野 正登 専任幹事） 昨年、高松中央倫理法人会の兼間会長のもと専任幹事になり、はじめての講話になります。自己紹介、42才、高校まで高松で過ごす。自動車が好きだったので自動車の整備士を学ぶ。家が不動産業をしていたので、そろそろ帰省して本職の仕事を継ごうかと、宅建の資格を取り、住宅産業の営業職を11年間務める。皆様から建てさせていただきました。趣味はゴルフ、テニス、楽しいこと。資格は、浄化槽保守管理・宅建主任・相談士・2級自動車整備士など。勤務していた2009年（3年目）、挫折を味わう。転職を考えた。年間6棟のノルマ。上半期→0棟。下半期に 全て無駄になる、落ち込む、 上司から『どうするんや～』と、その時思ったのが。どういう人材が望まれるのか？バッチと名刺がある間～。返事は『ほっといてください～』といった。 その時から飲みに行き、会社にしがみつくことを辞めた。そうすると毎月1棟売れた、半期で6棟。高松青年会議所に入る。2012年委員会「日本人の心の継承 委員会」の幹事。委員長が兼間さんだった。委員長のお世話係、委員会の議事録、一言も漏らさず帰って作る、時に徹夜して。 その後サービス付き高齢者住宅の話が来て、運営を兼間さんの相談。その後倫理法人会に入会したが2年間出席せず。兼間さんから電話があり、高松南倫理法人会を分封して新しい会の会長をするから専任幹事を頼まれる。ほとんど知らない組織、またスケジュールがタイトな中、人脈を使って最初は普及を進める。しかし残り一か月になって、周りの人たちが本気になって動いてくれたおかげで設立式典までに102社達成できた。 松熊さんから一人が100歩進むより、100人が一歩進むことが大事と。 一か月に45社の入会。先日、熊田さん講話を聴いて、 15条<信成万事> 出来た事しか考えなかった。弱音は吐いたことがなかった。

担当者：赤山 芳隆

穴吹興産でのサラリーマン時代、半年間契約取れずに苦しんだ時期があった。その後は飲み会に積極的に参加し人脈作りに力をいれて会社からなくてはならない存在となる。青年会議所で現在高松中央倫理法人会の会長をしている兼間会長と出会う。兼間さんとは青年会議所以外でも仕事でも協力しているところもある話をされました。倫理法人会にはその兼間さんが県の役員をしているときに入会したが全然参加せずでした。昨年三月中ごろに高松中央倫理法人会設立のために兼間さんより協力要請あり、3月末には専任幹事を依頼されよくわからずに引き受けした。50社に達成する時期、100社に達成しなくてはいけない時期を話されました。また兼間会長に恥をかかせるわけにはいかないと話されました。会長に対する愛が伝わってきました。勢いとノリと計画性のある人だと思いました。私も見習ってやっついていこうと思いました。講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 27社 27名

次回のご案内

（モーニングセミナー）

日 時：1月24日（水）6：00～7：00 会場：南新町自治会館2階

テーマ：小さな実践による大きな効果

講話者：（一社）倫理研究所 研究員 呉屋 嘉治

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp